

コロナウィルス・コーチからの公開状：Covid “ワクチン” についての真実

最終的警告：極めて危険で致命的な COVID-19 ワクチン注射

April 24, 2021 (SOTN)

すべての関係者の方々へ、

2019年12月の最初の週、中国は武漢でコロナウィルスが始まる7週前に、私のヘルス・コーチ・クライアントの一人が、多くの健康状態と医学上の疾患が、改善するまでに一昼夜続くというひどい苦しみを味わった。

我々は、彼女が西半球で、COVID-19の最初の患者になろうとは、夢にも思っていなかった。しかし彼女がたまたま、非常に明敏で、独自のヘルス・コーチであったために、我々は二人とも、5Gのワイヤレス通信や他のWi-Fi放送に曝されたことによって、非常に強化された、新しい種類の伝染病と取り組んでいることを理解した。

そこで2021年の4月まで飛ぶとして、その十数月の間、私は世界中の24のタイムゾーンで、コロナウィルスのコーチを続けていた。私がすぐに感じ取ったのは、誰がCovidに感染しており、なぜ罹ったのを示す明確なパターンだった。

もちろん、最初のワクチンが利用できるようになったとき、私は、それぞれの地域で異なる利用可能なワクチンを選ぶ、色んな病歴と健康状態のクライアントを、綿密に追跡することができた。私が聞き、観察したのは、とても落胆させる状況だった。しかし、ケース・バイ・ケースの症状と、多様なワクチンの傷害について、私が説明するより、トップのワクチン専門家とCovid医師として、専門の科学を知り、医療の反響を跡付けた、次のような人々にそれを譲ろうと思う：——

ワクチン専門家とCovid医師による10の危機的COVIDのビデオ

http://stateofthenation.co/?page_id=31131

誰でも、これら10本のビデオをどれでも見る人は、何かひどく間違ったことにすぐに気づくであろう。それは、これら異なったCOVID-19ワクチンが、FDAの「緊急時特別許

可使用 (Emergency Authorization Use)」の条件でのみ、使用できていることだ。

この高度に実験的な、スーパー・ワクチン接種アジェンダとして、COVID-19 “ワクチン” の何が間違いかと言えば、まさに、アメリカ人民が真実を目隠しされていることである。この臨床的観察の初期の段階において、固い科学的データと逸話的な証拠が示しているのは、少なくとも3つの深刻な問題が、このいわゆる「ワクチン」について、並行して起こってくることである。

第一に、異なった種類のすべての COVID-19 “ワクチン” が、死と傷害、病気や他の心身衰退の形態を引き起こして、そのすべてが、完全に受け入れられない率でそうになっていることである。真の死亡率と、ワクチン障害の発生率は、Covid スーパー・ワクチン接種アジェンダの実行を妨げないように、大衆には明かされていない。

第二に、これらの COVID-19 “ワクチン” は現実に、もしワクチンが与えられていなかったなら、決して起こらなかったであろう、新しい症例に貢献している。言い換えると、今日、COVID-19 感染の主要なベクトルは、SARS-CoV-2 を防ぐことになっている、Covid ワクチン・プログラムである。

第三に、ワクチンを受ける大衆に明かされていない、一回ごとの連続的な COVID-19 “ワクチン” の投与数につながった、他の深刻な結果が現れている。現在、高度に異常な症状と、恐ろしく悪性の副作用が、驚くべき率で現れつつある。そして、政府役人もヘルスケア職員も、完全にこれを無視している。

この第3の問題は、日ごとにタチの悪いものになりつつあり、それは、高度に資格を持つ医薬調査官や、経験のある科学研究者が、次第に明らかにしつつある問題のためである。そこで、もし読者がまだ、先にあげたリンクの10本のビデオをご覧になっていなければ、ここにもそれが設けてある：——http://stateofthenation.co/?page_id=31131

今、あまりにも多くの危険な副作用（死を含めて）が、あらゆる種類の COVID-19 “ワクチン” について、地球上に報告されているので、**健康な人がそれに罹ることすら考えられないのだ。**

注意すべきことは、COVID-19 は、長い間、2020年1月よりはるかに前から、出回っている。最上の科学研究の多くが、今、COVID-19 は2019年全体を通じて、我々とずっと共にあったと指摘している。それは、あらゆるこの地球の人間が、何らかのやり方、または形で、それに曝されている可能性が高いことを意味する。それにかかりやすい人は罹っ

ているかもしれない。そうでない人は罹っていないかもしれない。最上のワクチンは、コロナウイルスに曝されることである。なぜなら、つくり出される自然の抗体が、最も効果的な免疫化だからである。

それは完全に本当のことである。COVID-19 に曝されるほど、あらゆる人にとって良いことになる。なぜなら群集免疫がそれだけ早く生ずることを、それは意味する。自然の免疫反応こそ、COVID の厳しいケースでも、他のどんなケースでも、発生するのを防ぐ最大の防御となる。注意しよう——人体がそれ自身の抗体を作り出すとき、それが何といても、最大の効果的免疫反応であり、究極の防御である。新製品の「ワクチン」などというものは、人間の抗体の足元にも及ばず、必然的に、益よりも害を及ぼしている。

キーポイント：さまざまなビッグ・ファーマの Covid ワクチンは、伝統的なワクチンとしてさえ機能しない。ファイザーの BioNTech 注射は、すでに、少なくとも 2 回分を要求し、更にすべてのワクチン要求者に 3 回目を勧めている。これらの胡散臭い要求分は、mRNA 注射が、ワクチンの科学的定義のようには、全く働かないことを証明している——**そもそも何かに働くとして**。モデルナ “ワクチン” もまた、結局はファイザーと同じく成功することのない、mRNA 注射である。ジョンソン&ジョンソン DNA 注射は、別物ではあるが、すでに安全性の理由で、深刻な再評価を求められている。これも究極的には全く無効ということになるだろう。なぜなら多くの人々が、このワクチンを注射した後、Covid に罹っているからである。

人々が十分に知っておかなければならないことは、FDA にリストされている COVID-19 “ワクチン”は、本当はワクチンではないということ、また、それらは、安全性のためにも効果のためにも、十分なテストがされていないことである。**では、なぜそんなものを使うのか？**

前ファイザー副社長が、危険なワクチン・テスト詐欺を警告

<https://stateofthenation.co/?p=40859>

どんなワクチンでも、厳しい安全性テストと、その効力の綿密な評価のためには、少なくとも 5 年から 10 年はかかるが、Covid の注射はどれも、それを受けていない。したがって、親たちは、繊細で成長中の子供たちを、この極端に危険な疑似ワクチン・テストに曝すことを、特別に注意しなければならない——どんなワクチンがその地方に供給されていると。

年配者に関しては、COVID-19 ワクチンは、死の宣告か、自分の免疫システムが弱いため、必要のない痛みか苦しみの終末期を、それがつくり出しているように受け取られるであろう。同じようなことは、一連の並存症を患っている人々にも起こるであろう。これらは SARS-CoV-2 の重症を、普通よりも発病しやすい人たちである。

ここで言えることは要するに、これらの Covid 注射を受ける、どんな良い理由もないということである。結局、それはワクチンではない。むしろそれは、テストされていない、安全でない、証明されていない注射薬で、新式のテクノロジーを用いているが、その生体内の結果は、短期的にも長期的にも、完全に未知なのである。

結びとして私は、一人のコロナウィルス・コーチとして、次のような直接的な証言をしてもよいだろうか？ もし読者が、この COVID-19 “ワクチン” の暴露話を聞かれて、このコロナウィルス・コーチのクライアントとの典型的なコーチング・セッションの内容を知ったとしたら、そして特に、すべての心身耗弱の症状と、Covid 注射の引き起こす悪性の副作用を知ったならば、彼らは、このような危険で致命的な注射のシリーズを受けようとは、考えもしないことは、ほぼ確実である。「シリーズ」と言ったのは、すべての製造者たちは、人々がもしワクチン接種の時間を合わせてくれるならば、年中行事を指定しているからである。

そこで今、アメリカのあらゆる人間が、Covid 注射とともに、年に一度のインフル注射を受けることを強制されるだろう。いったいビッグ・ファーマは、これらの注射がいつまでも、「緊急時特別許可使用」のみを認められていたら、どうするつもりだろうか？ これほど多くのワクチンによる傷害や死亡の結果として、この緊急事態を存続させるつもりだろうか！

最終ポイント：多くのクライアントが尋ねる——「コーチよ、あなたが Covid ワクチンを考えてもいいと考える状況は何かありますか？」 私の返答は常に同じである——「ビッグ・ファーマが私に、100 億ドルの小切手を書いてくれても、私は、それを貰うことを考えさえしないだろう。」

[Greatchain 訳注]

ここ数回、連続して翻訳紹介した「ワクチン」関連記事と、これは内容的にほとんど共通するので、事実を確かめるためにも、比較して読んでいただきたいと思う。

この「最後のポイント」の一言は、今、汚いカネの誘惑が大きであろうことを見越して言われている。我々の取るべき態度は、ここに言われている、プライドの一撃を食らわせて、ビッグ・ファーマ（あるいはジョージ・ソロス）に敗北を言い渡すことである。彼らは我々の生物的生命を狙ってくるだろう。しかし、この世界的な異常な事態に立ち向かうには、自分の持つすべてを賭けて、戦わねばならないと思う。結局はサタンとの戦い、道徳的な戦いである。彼らはあらゆる手を用いて、我々の霊と肉体をともに墮落させようと狙っている。世界と我々を滅ぼそうとする者にとっては、唯物論が好都合な、最大の武器であることを忘れてはならないだろう。

ついでに、ドイツの科学者グループが、ファイザー社の「ワクチン」の内部拡大写真に、細胞らしい微生物らしい、説明不能の、不気味なものを見つけたという動画を添付する (Infowars) : ——

<https://www.infowars.com/posts/disturbing-vaccine-zoomed-with-microscope-appears-to-show-living-cells-organisms-mixed-in/>